

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当	
A-169	A-139	20-026	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名（原題／訳）</b>			
Adverse Childhood Experiences, Smoking and Alcohol Use, and Allostatic Load Among People Living with HIV HIV 患者における逆境的小児期体験、喫煙・飲酒使用、アロスタティック負荷			
<b>執筆者</b>			
Wallace M, Felker-Kantor E, Madkour A, Ferguson T, Welsh D, Molina P, Theall KP.			
<b>掲載誌</b>			
AIDS Behav. 2020 Jun;24(6):1653-1662. doi: 10.1007/s10461-019-02684-5.			
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>	
アロスタティック負荷-逆境的小児期体験-健康行動		31559525	
<b>要 旨</b>			
<b>目的：</b> 逆境的小児期体験（ACE）が成人の健康に及ぼす悪影響についての研究は増え続けているが、メカニズムについては明らかになっていない。HIV 患者コホート研究で、ACE と成人になった時の生理的多系統異常調節状態の指標のアロスタティック負荷との関連について調査した。			
<b>方法：</b> 2015 年 10 月～2017 年 10 月までの期間に、急性疾患や酩酊状態に陥っていない 18 歳以上の非妊婦 365 名の HIV 患者を対象とした。ACE の経験回数毎にアロスタティック負荷の 2 指標（①HDL は第 1 四分位を、その他は第 4 四分位をカウントする、②コルチゾールは第 1 および第 4 四分位をカウントする）の平均値を求めた。線形回帰分析を用いて ACE 経験 4 回未満を対照群として、4 回以上経験した群のアロスタティック負荷に対する回帰係数を推定した。また服薬状況と社会統計学的特徴のみ調整を行い、ACE の経験回数が多い群とアロスタティック負荷との関係における性差の不均一性を検定した。			
<b>結果：</b> ACE を 4 回以上経験した群は、経験の少ない群と比較して成人期のアロスタティック負荷が平均的に高かった。また両者の関連は男女間で差がなかった。線形回帰分析にて ACE はアロスタティック負荷と正の関連を認めた。アロスタティック負荷を悪化させると考えられている喫煙やアルコール使用はこの関係を媒介しなかった。			
<b>結論：</b> ACE はストレスに関連した否定的な健康習慣（薬物使用の増加など）を介してではなく、生理学的変化に直接影響を与える可能性があることを示唆した。HIV 患者は人生において逆境にさらされることが多くなるため、ACE の有無を考慮した上での介入が必要である。			